

事業所名

チャイルドステーションゆうゆう

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

2025 年

3 月

17 日

法人（事業所）理念		子どもの安全・安心を保障し、最善の利益を追求する								
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> 生活能力の向上家庭や知識技能の習得をすることができるよう家庭やこども園と連携し、様々な体験や活動を通して、一人一人の状況に応じた発達支援をおこないます。 安全安心で、心の安定した時間を過ごせるように支援します。 長所を見つけ、褒めて伸ばす支援をします。 								
営業時間		9 時	0 分	から	18 時	0 分	まで	送迎実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態の把握 毎日の検温、手洗い、うがいを実施し、一人一人の健康状態を把握します。日常と異なる状態のときは、必要な対応をします。 基本的な生活スキルの獲得 食事、排泄、着脱、荷物の整理整頓など基本的な生活スキルを獲得できるように支援します。 								
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢と運動・動作の向上 日々の生活、遊びの中で日常生活に必要な、姿勢と運動・動作の基本的技能の向上をめざします。（鬼ごっこ、ダンス、ボール遊び、バランスボール、公園での活動など） 								
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 感覚や認知の活用と習得 レクリエーションや制作活動を通して、感覚を刺激し興味の幅を広げることができるように支援します。（工作、パズル、知育玩具、粘土、水遊び、ブロック遊びなど） 時間の認知と行動形成 タイムテーブルを可視化して指示し、時計を見て行動できるように支援します。 								
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションの基礎的能力の向上 簡単なあいさつや会話など、円滑なコミュニケーションを行うことができるように支援します。 読み書き能力の向上 読書や学習支援を通じて、読み書き能力の向上をめざします。 コミュニケーション手段の選択と活用 個々の児童に合わせて、絵カードや身振り手振り、ジェスチャーなどの非言語的コミュニケーションを用いて相互理解を図っていきます。 								
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 情緒の安定 スキンシップ遊びなどを通して、アタッチメントの形成を図り、情緒が安定することで安心して過ごせるよう支援します。 人間関係の形成と社会性の発達 1対1の関わりを基本とし、安心して取り組むことができる環境下で、安定した人間関係の形成や社会性の伸張を支援します。 								
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 写真付きのお便りを利用の度に発行し、活動内容や支援の様子を分かりやすくお伝えします。 保護者の子育てや就学などについての相談に応えます。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 卒園後やその他、移行先にスムーズに移行できるように、関係機関との連携を図り、調整を行います。 			
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて併用事業所やこども園との情報連携や調整、支援方法や環境調整の相談援助など関係機関との連携を図ります。 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 年間計画による内部研修、外部研修、資格取得研修等を行い、子どもの特性に即した対応や、学習の困難さに対する支援方法等について学びます。 ※法定研修（虐待防止、感染症予防、人権など）、ケース検討会 			
主な行事等 (季節に応じた活動を含む)		<ul style="list-style-type: none"> 公園での外遊びや工作等を通じて、季節の変化を感じられる支援をします。 								